

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水 4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本国憲法 (立憲主義とは何か) The Constitution of Japan (To the Constitutionalism)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 舟越耿一 /Eメールアドレス: funakoe@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 教育学部新館 4 階 /オフィスアワー: 木・3			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 立憲主義とは何かということを理解し、その上で日本の憲法状況で何が問題であり課題であるかを説明できるようになること。 授業方法: 憲法をめぐるその時々々の政治状況に目配りしながら、基本的にはテキストに沿って進める。 授業到達目標:憲法は誰のために何をするためにあるのかということを理解し、主権者としての心構え・役割を明解に述べる ことができるようになること。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 基本的にはテキストに沿って進めますが、改憲をめぐる政治の動向により、急遽、授業内容を変更することがあります。 第1回 講義解題 - 憲法と政治、日本国憲法をめぐる問題状況 第2回 デモクラシーと法 第3回 デモクラシーの理念・歴史・現状 第4回 近代立憲主義 第5回 日本国憲法の制定過程 第6回 象徴天皇制とデモクラシー 第7回 平和主義の内容と構造 (1) 第8回 平和主義の内容と構造 (2) 第9回 平和主義の内容と構造 (3) 第10回 教育とデモクラシー - 憲法と教育基本法 第11回 「教育改革」の動向と問題 第12回 精神の自由とデモクラシー 第13回 経済生活と市民生活をめぐるデモクラシー 第14回 生存と労働をめぐるデモクラシー 第15回 定期試験			
キーワード	立憲主義、国家、基本的人権、		
教科書・教材・参考書	畑安次・舟越耿一編 『デモクラシーと憲法』 ミネルヴァ書房		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況 20% レポート 30% (求めに応じてレポートを出せば最高 30 点) 定期試験 50% (満点の内容で 50 点)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			